


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究者および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本化学会第97回春季年会
演題名	茶殻およびコーヒー豆殻を用いた重金属イオンの吸着
発表者	○山田拓※、Norhaniza B. Emrizal、 <u>柳原尚久</u>
内容	<p>慶應義塾大学日吉キャンパスで開催された日本化学会第97回春季年会の環境・グリーンケミストリー部門において、本学4年生の山田君が卒業研究内容の一部を口頭発表しました。この研究は、昨年度、マレーシアのUSIM大学（University Sains Islam Malaysia）から短期留学生として当研究室に滞在していたノルハニザさん（Norhaniza B. Emrizal）も共同で研究を行いました。</p> <p>この研究は、当研究室が一つの研究テーマとしている廃棄バイオマスの有効利用の一環として行っているもので、茶殻およびコーヒー豆殻が水中の重金属イオンの捕集に非常に有効であることが見出されました。</p>
関連画像	 <p>学会が開催された慶応大学日吉キャンパスにて</p>